



# 問 これからのまちづくり、どげんすると

## 答 職員間のチームワークが重要

**問** 太陽光発電償却資産の税率及び再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の特例及び発電設備事業者の特定方法を伺う

**税務町民課長**

固定資産税の税率は1.4パーセント、太陽光発電設備に対する課税の特例措置は、経産省による認定を受けた場合、平成28年3月31日までに取得された物は、課税の対象となつた年度から3年度分限り、課税標準価格を3分の2に軽減する特例措置がある。事業者の特定は九電の方にも問い合わせたが、個人情報ということで提供がされなかったが、今後、隣接市とも検討し情報開示を求めていきたい。

**問**

事前協議などの指導要綱を制定している市町村もあり、税の公平性から見ても、漏れがないように事業所を特定する必要がある。

十分に考慮しながら景観土地利用計画の策定にあたらなければならぬ。今後の太陽光発電再生エネルギー設置に関する規制や緩和措置を伺う

**企画課長**

今後土地に自立して設置する太陽光発電施設が無秩序に立地すれば、本町の田園景観や土地利用に支障が生じる懸念があるため、景観土地利用に関する

の検討の中で立地規制も視野に入れた協議をしていく。

**問** 各団体を緩やかに繋いでいくネットワークづくりの進捗状況は

**町長**

まちづくり団体名簿の整備を行っているほか、農山漁村交流事業による地域活性化モデル事業において、おおきふるさと子ども夢学校ネットワークを組織した。また、まちづくり団体との意見交換会を予定しており、各団体の意見や要望を聞き、今後の支援や施策のあり方を検討していく。

**問**

図書文化等拠点施設が拠点となっているが、施設のあり方をいま一度検討している。

まちづくりセンターの復活を含めて、まちづくりの拠点をどうするか、方向性や今後の施策を伺う

**生涯学習課長**

職員体制も変わり、大溝・大莞コミュニティセンターとの役割分担及び図書情報センターの施設運営の現状などを考え、まちづくり団体の拠点施設のあり方について検討をしていく。

**問** 健常者と障害者が一体となったスポーツ・レクリエーション活動の方策や目標設定を伺う

**福祉課長**

総合体育館では、入口のスロープ及び受付の低台カウOUNTER等の改修工事など、障害者の利便に配慮したバリアフリーのための環境整備に努めているが、健常者と一体となったスポーツ・レクリエーション活動は、現在、障害者団体からの要望も特にないため、特段の取組みは行っていない。

**問**

まちづくりの観点から健常者、障害者がともに参加できるスポーツを通じて、まちづくり又は人づくりの一環が担われるのではないかと。まちづくり団体のネットワークづくりも必要不可欠だ



スポーツ・レクリエーション活動のようす

が、総合型地域スポーツクラブを通じた各課のネットワークづくりもあっていいのでは

**福祉課長**

障害者団体の意向を聞きながら今後の取組みを考えていきたい。その中で、施設、競技内容等により、役場内の他の課との連携が必要になれば連携を図っていきたい。

**生涯学習課長**

取組みについては要請をしていく。

**問**

来年度も予算編成及び人事において、大木町役場が一体となったチーム大木として、職員間の連携も考慮し、27年度に向けた思いを伺う

**町長**

職員同士が信頼関係を築き上げ、チームの力を高めていくことが必要と考えるので、先頭になって指導していく。



スポーツ・レクリエーション活動のようす